

エンジニアパーク

Engineer *Ring* Park



鈴木 孝善 建設部門（建設環境） 道北技術士協議会理事

勤務先：株式会社 アサヒ建設コンサルタント 第2設計部

連絡先：TEL(0166)23-4526 FAX(0166)23-4528

私は、石狩川のすぐ側に家があるという自然豊かな環境で育ちました。広い河川敷があって、洪水の後に残されたワンドでフナやウグイを釣ったり、稚魚やオタマジャクシを手ですくったり、石の下にいるコオロギを捕まえたりと、遊び場所としては最高の環境だったと思います。このような場所で育ったということもあって生き物が大好きで、学生時代には生物の進化に興味を持ち、古生物学や古生態学、古環境学などを学びました。

現在、建設工事の調査・設計などの業務に携わっておりますが、設計業務の中で自然環境や生き物に配慮した施設が出来ないかと、中でも河川の持つ浄化能力を生かすことで河川の水質を改善する施設ができないか—河川や排水路の水質が浄化できれば、その清流を生かした多様な水環境を作りたいと考えております。

建設工事は、自然を改変するという事で悪者扱いをされることが多いのですが、これだけ技術が進歩したのですから、自然環境や生態系への影響を最小限に抑えながら、逆に良好な生物生息環境や景観を創り出すことが我々土木技術者の努力しだい出来るのではないかと思います。

また、北海道の豊かな自然や美しい景観を可能な限りそのままの状態の子供たちの世代に引き継いでいくことが、親としてまた土木技術者としての責任ではないかと考えております。



次号は、富樫 巖さん（森林部門）



大橋 和政 農業部門（畜産） 勤務先：美幌町役場

長く畜産・農業の仕事に携わりました。この間広域食肉センター建設調査、集送乳合理化バルククーラー導入、国営草地開発事業ならび育成牧場管理運営などに力を注ぎました。また、地力増進上から畑作複合部門として美幌和牛の定着と銘柄化に努めました。技術士本試験での専門事項に関する技術体験は「肉用牛肥育技術開発と肥育センター設置」について記述しました。役場職員ですから農業の仕事から離れることもありましたが、技術士となってからは当センターをはじめ各研究会に入り、斯界の動きを掴むようにしています。これまで農政課、美幌峠牧場、企画調整課、農業館、施設管理課、学校給食課など多くを経験しましたが、現出納審査課が最後の仕事となりそうです。それぞれの職場で、成果分析、目標設定、進行計画、事業実施と螺旋サイクルのように新たなプロジェクトが次々と立ち上がります。課題解決のためには幅広い情報と最新の技術が求められます。当センターの会員とさせてもらっているおかげで、「コンサルタンツ北海道」から何時も有益な情報を得ています。自治体にとって道路や上下水道など公共施設を最小経費で安全効率よく維持管理することが最も重要です。地理的特性と資源活用し産業を興し雇用拡大し地域経済を潤すこと究極の政策課題であります。オホーツク技術士協議会に参加してから地元の北見工業大学で学ぶことが多くなりました。また、日本畜産技術士会に所属して全国専門家とML交流図っています。まさにITや高度位置情報による地域づくりをイメージするこの頃です。今春、役場を卒業しますが、技術士の一人として社会貢献ができればと願っています。



次号は、上野一郎さん（農業部門）